



理念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ① 認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ② 認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③ 地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④ 働きがいのある職場づくり
- ⑤ 職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- ① 良質な医療を平等に受ける権利
- ② 選択および自己決定する権利
- ③ 意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④ 十分な説明を受ける権利
- ⑤ 個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑥ 個人の尊厳を守る権利
- ⑦ 通信・面会を自由に行う権利

INDEX

- 表紙** 福井の名所探訪④
芝政ワールド(坂井市)
- P2** すこやか講座
「お食事に関する悩み」
- P3** 家族は今
「家族の中心で穏やかな母」
- P4** すこやか探検隊
「物忘れ相談プログラム」
- P5** 栄養管理室からのお知らせ
空気清浄機の設置
- P6** トピックス
新人紹介
外来医師診療体制
- P7** 令和2年度
患者家族満足度調査
- P8** 研修案内(一般・専門職)
令和3年7月～

すこやか 講座



お食事に関するお悩み →(○○かもしれない)を考える

認知症ケアの場面で、認知症の方の行動に悩むことはよくあります。

なぜそのような行動をとるのか、行動の理由（背景）から、ご本人のニーズに応えられるよう対応を考えることが大切です。今月号では、お食事に関するお悩み事例をとりあげて解決策を考えてみたいと思います。

□をあけてくれない

- 見た目や匂いをかいでも食べ物と認識できないのかもしれない
- 食事の姿勢や介助方法が適切でないかもしれない
- 周囲の音や会話が影響し、食事に集中できないのかもしれない

傾眠してしまう

- 日中の活動量が足りないために昼夜逆転しているのかもしれない
- 室内で過ごす時間が長いため、日光を浴びる時間が短くなり、体内時間がずれているのかもしれない
- 食事量低下に伴う脱水状態で、眠気を助長させているのかもしれない

食後に 「食べてない」と言う

- 「食べてない」の訴えは、歌を歌ったりお話が弾んでいるときにはみられないので、手持ち無沙汰だと気持ちが食事に向いて訴えるのかもしれない
- 食事を食べた実感がないのかもしれない

正しい食事姿勢の例



- 自分の手でスプーンを持ち、食べ物をしっかり見てもらう
- 「煮物ですよ」などと声かけしておかずに興味をもってもらう
- 味がはっきりしたものやなじみのある食べ物を味覚で認識してもらう
- 屋外での活動を増やしたり、体操や口腔ケアを行い傾眠傾向を改善する
- 食事摂取量の低下は水分摂取量の低下につながり脱水になるおそれがあるので必要に応じて受診を行う
- 「食べてない」と訴える背景には「空腹感」より「食べた実感や満足感」が得られていない場合があります。食事中に味や料理の感想を聞いたり、食事を楽しんでいただき実感を残す工夫が大切です

「家族の中心で穏やかな母」

F・K様の3人の娘より

今、写真を取り出して4年前の米寿の祝いの母を見えています。マニキュアをしてもらい、贈られた花柄のワンピースと着飾った姿で19人の子供家族、孫、ひ孫に囲まれ少しはにかんだ姿がありました。

5年前に父が亡くなり、少しずつ元気がなくなってきたように思います。以後、脳梗塞、腎盂炎、頭打撲、肺炎2回と入退院を繰り返し、入院中は食べなくなり命の危険もありましたが、退院して家に帰ると、食べて見違える様に元気になる驚かされました。「家族がいいんだなあ」と実感しました。その頃から物忘れなど徐々に認知症も進んできました。

これまでの母は、家族の為に会社に勤めながら、稲づくり、野菜づくり、夜に内職と働き通しでした。人とのつながりも大切にされていて、いつでも誰にでも「有難う、ありがとう」とやさしい母と評判でした。

家では、ケアマネージャーに相談アドバイスを頂き、リフォームとデイサービスの利用を行い日々介護を続けました。しかし、仕事をもって隣で夜中のトイレ補助、食事の補助等々に疲れが出始めた頃、愛犬の死も重なり、母の異変に気がきました。

大声でしゃべりっぱなし、幻覚、妄想を繰り返しました。近所の病院でも手が付けられない状態で、この病院に緊急入院となりました。ここでは、先生や看護師の方の懸命な治療のおかげで波はありますが安定しているようです。

コロナで直接会えないが、1日でも家に戻して、以前のように居間で孫とひ孫の真ん中で穏やかにいる時を作りたいと思います。



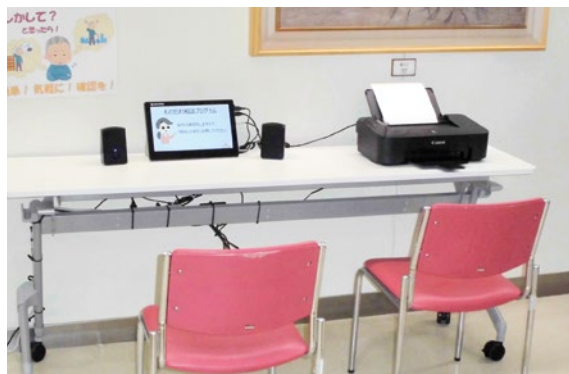


物忘れ相談プログラムを 設置しました

このたび、外来待合ロビーに物忘れ相談プログラムを設置いたしました。

物忘れ相談プログラムは、鳥取大学・浦上克哉教授が考案した認知症スクリーニング検査で、認知症の早期発見につながる検査です。テスト時間は約5分と短時間で、テスト項目は「言葉の即時再認」「日時の見当識」「言葉の遅延再認」「図形認識①」「図形認識②」の5項目と少なく、低ストレス、ゲーム感覚でテストを受けられます。テストを終えた後すぐに結果を確認することができます。

物忘れの気になる方はどなたでもお気軽にお試しください。結果が気になる方は当院にご相談ください。



言葉の再認

先ほど覚えてもらった言葉を、3つ選んでください。

うめ	ねこ	じどうしゃ
きく	いぬ	でんしゃ
さくら	うし	ひこうき



日時の見当識

今日は、何日でしょうか？

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
29日	30日	31日				



図形認識

上の図形を違う角度から見たものを、下の5つの図形の中から、1つ選んでください。

検査の結果がこちらに表示されますので、
参考にしてください。

もの忘れ相談プログラム 相談日 2021/03/15

ID番号 - 氏名 -
施設番号 - 生年月日 - 性別 -

項目	言葉の即時再認	日時の見当識	言葉の遅延再認	図形認識①	図形認識②	合計
項目	3	4	6	1	1	15
得点	1	1	2	0	1	5

アドバイス

物忘れが始まっている可能性が疑われます。

得点結果表の解説

- 言葉の即時再認 今聞いたことを覚えているかを尋ねる問題。
- 日時の見当識 年、月、日、曜日などの時間が分かっているかを尋ねる問題。アルツハイマー型認知症では、日時の見当識がよく障害される。
- 言葉の遅延再認 さっき聞いたことを覚えていないかを尋ねる問題。アルツハイマー型認知症などの認知症では、この言葉の遅延再認がしばしば障害される。
- 図形認識① 立方体を用いて、視空間認知機能を診る問題。頭頂葉の障害を反映しており、アルツハイマー型認知症の発症に役立つ検査。
- 図形認識② 三角柱を用いて、立方体よりもむずかしい視空間認知機能を診る問題。

合計得点 13点以上については、現時点では物忘れは心配ありません。
12点以下については、物忘れが始まっている可能性が疑われます。

定期的に「もの忘れ相談プログラム」と対話しましょう

アルツハイマー型認知症は、いつはじまったのかわからず、症状が緩やかに進行していきます。その為には定期的にこの「もの忘れ相談プログラム」と対話しながらテストをうけましょう。いまでは、治療薬の研究も進歩しています。大切なことは、「早めに気づいて医師に相談する事」が何より大切です。

監修 鳥取大学医学部教授 浦上克哉
編纂 岡山すこやか診療所

栄養管理室からのお知らせ



久世管理栄養士



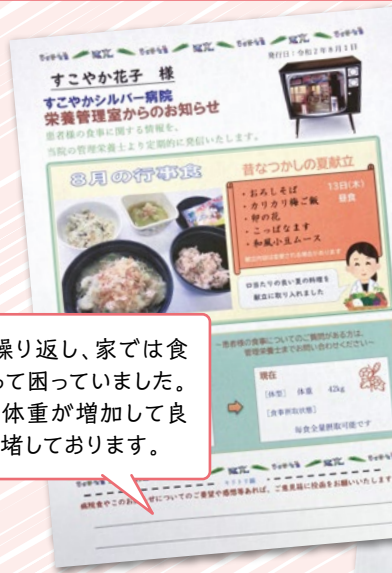
田中管理栄養士

ご家族の方へのお便り発行は 令和3年6月で1年が経過します！

～コロナ禍がきっかけで始まったお便り発行～

院内の行事食のお知らせや入院中のお食事の摂取状況、体重の変化等についての情報をお便りに盛り込みました。入院患者様との面会がままならない状況の中、月1回の頻度ですが心をこめて作成してきました。（※デイケアに通われている方のご家族には、「栄養だより」を発行しています）

ご家族の方からいただいたお手紙を、一部紹介させていただきます



入退院を繰り返し、家では食事量が減って困っていました。入院後は、体重が増加して良かったと安堵しております。

病院食や摂取状態まで知らせて下さり、ありがとうございます。私は入院する前の時の事を思い出しながら拝見させていただきました。皆様のご好意に胸一杯になりました。

～ご家族の皆様～

貴重なご意見や感想等、ありがとうございます。お便り発行は、今後も出来る限り継続していきたいと思っています。

空気清浄機の設置

新型コロナウイルス感染症の予防対策として全ての病室、外来待合室、診察室、デイケア等に空気清浄機を設置しました。

また、患者様がデイルームで過ごしている日中は、窓を開けて換気も行っております。

当院は認知症専門病院という特性上高齢の患者様が多いため、今後も感染拡大予防に十分注意を払っていきます。

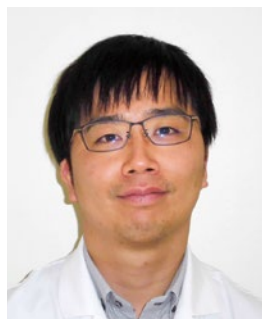


トピックス

はじめまして!!



新入職員紹介



副医長
かみ や
神 谷 たく
拓

はじめまして。

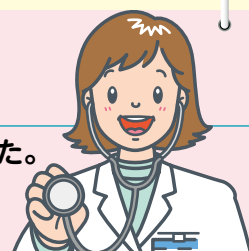
麗らかな春の日に、例年よりも早い桜の開花とともにすこやかシルバー病院にやってきた医師の神谷と申します。

医師として関われることは外来や入院での治療が中心とはなりますが、当院には心強い専門スタッフがたくさんいます。チーム医療で取り組み、少しでも患者さん・ご家族のお力添えとなれるよう、笑顔の花を咲かせられるように日々診療に取り組んで参ります。毎週火・木・金曜日に外来でお待ちしております。どうぞお気軽にご相談下さい。よろしくお願い致します。

診療体制が変更となりました

医師の異動に伴い、令和3年6月より下記の通り診療体制が変更となりました。

外来診療担当医表



		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
村田	午前	再 診		初診(再診)	再 診	初診(再診)
	午後	初診(再診)		再 診	再 診	再 診
伊藤	午前	再 診	初診(再診)		再 診	再 診
	午後	再 診	再 診		再 診	再 診
かみ や 神 谷	午前	初 診	初診(再診)		再 診	再 診
	午後		初診(再診)		初診(再診)	初診(再診)

令和2年度 満足度調査の結果報告

皆様に満足していただける病院づくりを目指すため、患者様およびご家族の方を対象とした満足度調査を令和2年9月に実施させていただきました。調査にご協力していただいた皆様におかれましては、大変貴重なご意見・ご要望をたくさんいただき、誠にありがとうございました。この調査結果を全職員が真摯に受け止め、今後皆様にご満足いただけるような病院づくりを目指し努力してまいります。つきましては、下記のとおり調査結果をご報告させていただきます。

調査の概要

《調査目的》 患者様およびご家族の方へのサービス向上を目指すため満足度調査を行う

《調査方法》 対象者：福井県立すこやかシルバー病院に通院・入院中の患者様とご家族

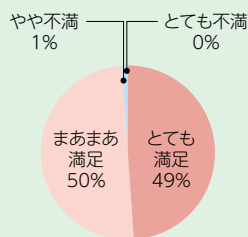
調査方法：当院で作成したアンケート用紙を対象者の方に手渡しで配布、調査協力の得られた対象者から用紙を回収して項目ごとに分析

調査期間：令和2年9月1日～令和2年9月30日

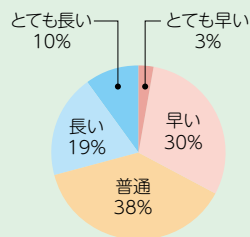
回収率：外来100% デイケア68.3% 入院51.2%

★外来に関する調査

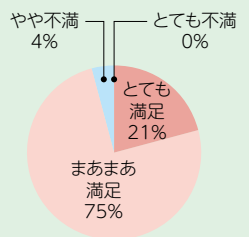
診察の満足度



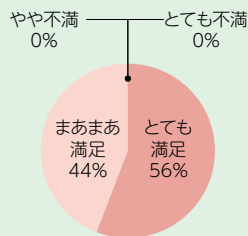
診察までの待ち時間



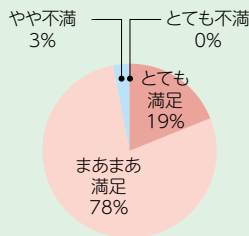
待合室の居心地



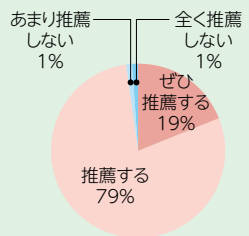
職員の言動や態度



病院内の清潔度

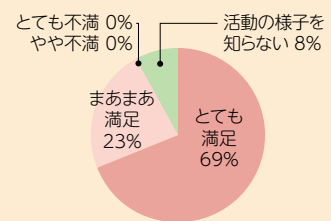


当院を他の方に紹介したいか

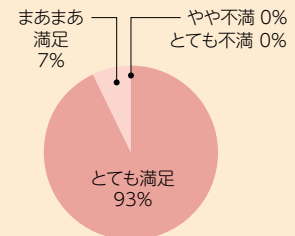


★デイケアに関する調査

活動内容

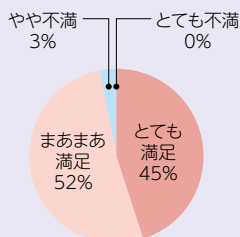


職員の言動や態度

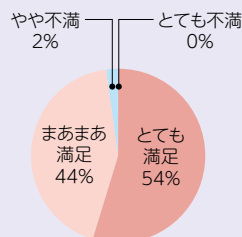


★入院に関する調査

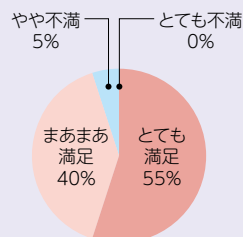
医師の説明



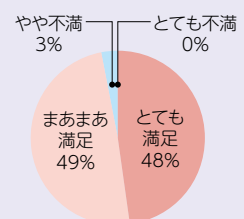
安心できる療養環境か



看護師・介護福祉士等の言動や態度



あなた(ご家族)が望んでいた治療を受けられているか



これは、アンケート結果の一部です。他の結果につきましては、エレベーター横の掲示板に貼り出してあります。また、寄せられたご意見・ご要望についての回答は掲示板下のファイルに綴じてありますので、病院へお越しの際にご覧ください。



【令和3年7月～】

福井県立すこやかシルバー病院 研修・講演会案内

注
意
事
項

- 定員以上の受付は致しません
- 体調不良の方の入場禁止(体調不良の方はご連絡いただき来場をご遠慮ください)
- 検温の実施(37.0℃以上の場合、参加はご遠慮ください)
- 手指消毒の実施(入場の際消毒ください)
- マスク着用(各自ご準備ください)
- 換気の実施(服装、掛物、座布団等持参のうえ調整ください)
- 座席指定制(指定された席以外利用できません)
- 参加者氏名・住所・電話番号の記載
- 専門職の方は所属施設の許可がある場合のみ参加可(所属施設の許可がない場合申し込みはご遠慮ください)

一般の方を対象にした研修

研修場所：福井県立すこやかシルバー病院(福井市島寺町93-6) 2階会議室

参加費無料

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講 師	定員
認知症高齢者の食事援助	7月2日(金)	13時30分～15時	●食事摂取困難な状況、介護のポイントについて ●認知症高齢者の摂食開始困難、摂食中断、食べ方の乱れに対する食事環境づくり	福井県立すこやかシルバー病院 渡辺康絵副看護師長	20名
脳を活性化させよう	7月6日(火)	13時30分～14時10分	●心と体を元気にする活動、実演	福井県立すこやかシルバー病院 濱谷祐三子介護福祉士	20名
高齢者の口腔ケア (録画での研修)	7月9日(金)	13時30分～15時	●口腔の機能、唾液、歯周病について ●高齢者の口腔内の特徴 ●ブラッシング、義歯管理、口腔ケアの実際	福井県歯科医師会 歯科衛生士 宮本美紀子氏	20名
認知症の基礎知識と 対応のポイント	8月20日(金)	13時30分～15時	●認知症の原因疾患、症状について ●認知症の方への対応のヒント、対応の実例	福井県立すこやかシルバー病院 西村信子看護師	20名
脳を活性化させよう	8月27日(金)	13時30分～14時10分	●心と体を元気にする活動、実演	福井県立すこやかシルバー病院 松間香織作業療法士	20名

ケア専門職の方を対象にした研修

研修場所：福井県立すこやかシルバー病院(福井市島寺町93-6) 2階会議室

参加費無料

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講 師	定員
認知症ケアと予防に 役立つ料理療法	7月14日(水)	13時30分～16時30分	●認知症予防と「料理すること」 ●「料理すること」の認知症への効用とは？ ●料理療法のすすめ方	京都教育大学 家政科 教授 湯川夏子氏	30名
認知症を生きる人との対話	7月16日(金)	13時30分～16時30分	●認知症を呈して生きる人とのコミュニケーション ●認知症者へのスピリチュアル・ケア ●共感的コミュニケーション	関西福祉科学大学 社会福祉学部社会福祉学科 教授 都村尚子氏	30名
レビー小体型認知症の人の支援 ～レビー小体型認知症の人の語り を通して見えてきたもの～	7月21日(水)	13時30分～16時30分	●認知症について(治療と診断) ●レビー小体型認知症(DLB)について ●DLBのご本人の思い、ご家族の思い ●DLBの人を支援する際に大切なこと ●DLBサポートネットワークの活動	園田学園女子大学 人間健康学部人間看護学科 講師 加藤泰子氏	30名
懐かしい記憶から引き出す 生きがい	7月28日(水)	13時30分～16時30分	●回想法について ●回想法実践中の行動・言動の変化 ●回想法による介入効果	神戸女子大学 健康福祉学部社会福祉学科 教授 津田理恵子氏	30名
イライラとうまく付き合う 介護職になる	7月31日(土)	13時30分～16時30分	●介護現場で抱くイライラや怒りの事例、原因 ●イライラや怒りに対するアンガーマネジメント 手法を使った適切な対応法	横浜市立大学 医学部看護学科 講師 田辺有理子氏	30名
優しさを伝えるケア技術 ユマニチュード®	8月18日(水)	14時～15時30分	●ユマニチュード®の哲学(ケアをする人とは何か、人とは何か、第3の誕生) ●ユマニチュード®の技法(見る、話す、触れる、立つ) ●ケア実践のための5つのステップ	富山県立大学 看護学部看護学科 教授 岡本恵里氏	30名
優しさを伝えるケア技術 ユマニチュード®	8月19日(木)	10時～11時30分	●ユマニチュード®の哲学(ケアをする人とは何か、人とは何か、第3の誕生) ●ユマニチュード®の技法(見る、話す、触れる、立つ) ●ケア実践のための5つのステップ	富山県立大学 看護学部看護学科 教授 岡本恵里氏	30名

講演会

講演場所：福井県生活学習館(ユウ・アイふくい)多目的ホール(福井市下六条町14-1)

参加費無料

講演名	開催日	講演時間	主な講演内容	講 師	定員
認知症の疾患別治療とケア	9月4日(土)	14時～16時	●認知症の診断と治療 ●認知症と間違えやすい状態 ●血管性認知症、アルツハイマー病、レビー小体型認知症、前頭側頭葉変性症の症状、治療、ケア	大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室 教授 池田学氏	100名

新型コロナウイルス感染症等の影響により、研修、講演会は中止となる場合がございます。
その際はご連絡いたしますので、申し込み時に連絡先をお伝えください。

お問合せ／福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部 TEL (0776) 98-2700